

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年7月8日

2003年7月6日現在：

7月6日に終わる1週間は、州東部平原に散発的に降雨があったものの、高温・乾燥気象であった。州平均農作業日数は6.7日(前週:6.2日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より多少下降した。高温・乾燥気象の為春小麦には水不足のストレスを示す物も出だした。

7月6日現在冬小麦の70%が完熟した(昨年同期:86%、平年:70%)。冬小麦作柄状況は多少前週より改善し、“Good~Excellent”が66%となった。収穫はこの週に進み29%で完了したが、昨年どうきでは55%、5年平均では40%の完了である。6月の気温が平年に比較し低目であったことより小麦はゆっくりと登熟し、7月に入り高温・乾燥条件となり急速に枯熟し出した。

コロラド州南部にて収穫された冬小麦の品質は、昨年に比較し容積重が高く平均値で60.14lb/bu(昨年:59.08lb/bu)、蛋白質は低目である。平均蛋白質(水分12%ベース)は12.32%(昨年:13.54%)であり、昨年より1%以上低い結果であった。1,000粒重は昨年より高い。澱粉の蓄積量の多い小麦となった。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、別表の通り単位収量は35.0 bushel/acreと6月1日予想より2.0 bushels/acre増加した。

土壌水分：2003年7月6日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	11	27	61	1
Subsoil (%)	17	35	48	0

冬小麦生育状況：2003年7月6日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Harvested (%)	29	8	55	40

小麦作柄状況：2003年7月6日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	4	7	23	50	16

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

[次のページへ続く](#)

2003年7月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
Colorado				June 1	July 1		
		1,650	2,200	22.0	33.0	35.0	36,300

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com